

平成 24 年度 特別推薦入試試験問題（第二部 商経学科）解答例

問 1（40 点）

【採点のポイント】

- ・ 筆者が述べている成功の要因を，的確に把握できていること。
- ・ 筆者が述べている内容を適切な文章量で要約できていること。

【解答例】

筆者が指摘している川上村の農業の成功の要因は，以下のような点である。第 1 に，高冷地の特性を活かし，食生活の洋風化に伴って需要が増えたレタス栽培に特化したこと。第 2 に，入会林の一部を農家に均等に分け，これを開墾することによって 8 割近くの農家が 2 ヘクタール以上の広い耕作地を所有する大規模農家になり，同じ規模の農家がよきライバルとして競争してきたこと。第 3 に，行政も，農業関係経費に最も大きな予算をつけて農家を支援してきたこと。第 4 に，プロ野球のスポンサーになり，テレビ・ラジオ CM を流すなど，川上村レタスのブランドの確立に努力したこと。第 5 に，国内消費だけに頼らず，香港や台湾向けにレタスの輸出に取り組んだこと。

問 2（60 点）

【採点のポイント】

- ・ 問 1 の解答で述べた成功の要因を踏まえて記述できていること。
- ・ 適切な文章量で記述し，自分の考えを論理的に表現できていること。

【解答例】

私が，川上村のレタス生産の取り組みの中で，鹿児島県に活かしたいと考えるものは，農産物のブランドの確立という点である。薩摩黒牛・黒豚のブランドは全国的にもかなり浸透していると思うが，宮崎牛や松阪牛などに比べればまだ知名度は低いのではないかと思う。お茶や養殖ウナギなども同様の状況ではないかと思う。大都会のデパートでは鹿児島県産の食品フェアなどは行っていると思うが，川上村のレタスのようにプロ野球のスポンサーになったり，テレビやラジオの CM といった取り組みは行っていないのではないだろうか。生産農家や JA，そして行政が一体となって，鹿児島の特産品のブランド化のための消費者向けの PR にもっと力を注いでいけばよいと思う。観光で鹿児島を訪れて初めてこうしたブランドの存在を知るより前に，九州新幹線の全線開業をきっかけにして大都会の消費者向けに鹿児島ブランドを積極的にアピールしていけば，そのことを通じて「あれを食べたいから，鹿児島に旅行に行こう」という人たちを増やせるなど，食をきっかけとした観光客誘致という効果にもつながると思う。